

引戸門扉 2連引き 施工説明書

- この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- 施工にあたっては、錠の組立施工説明書も合わせて参照してください。
- この説明書は施工後必ず施工主様へお渡しください。

施工時の注意事項 施工にあたっては次の点をご確認ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋込柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。
- 風当りの強い場所、崖上、山上、高台、海岸べりには設置しないでください。
- 本説明書に記載されている以外の免責事項は、総合カタログをご参照ください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意

- 各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締め付けないでください。破損の原因となります。
- 施工完了後は、扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。



引戸錠 HA 型の施工説明書 [ME-1746] を合わせて参照してください。

※この説明書内のイラストは、「右引き（道路側より見て）」・「内観図」で示しています。（「外観図」と指示のある場合を除きます。）

※「左引き（道路側より見て）」の場合は、左右対称に施工してください。

もくじ

梱包明細.....	2	4. 引戸部品の取付け.....	10
勝手の確認.....	2	4-1 縦枠キャップ（下部）の取付け.....	10
納まり図.....	3	4-2 戸車・孔フサガカバーの取付け.....	10
2連引き.....	3	4-3 戸先ガイドローラーの取付け.....	10
2連引き（隙間塞ぎパネル付き）.....	4	4-4 2連引きストッパーの取付け.....	11
1. 柱部品の取付け.....	5	4-5 連結部品の取付け.....	11
1-1 ガイド柱部品の取付け.....	5	5. 引戸の設置.....	12
1-2 戸当り柱部品の取付け.....	5	5-1 親扉の設置.....	12
2. 柱の設置位置の確認.....	6	5-2 先導扉の設置.....	12
2-1 柱の設置位置の確認.....	6	5-3 抜け止めストッパーの取付け.....	13
3. 柱・レールの設置.....	7	6. 引戸取付け後の作業と調整.....	14
3-1 レールの配置と連結.....	7	6-1 戸当り・錠受けの取付け.....	14
3-2 レールの取付け.....	8	6-2 錠の取付け.....	14
3-3 柱・レールの埋め込み.....	9	6-3 ガイドローラーの調整.....	14
		6-4 自走防止金具の取付け.....	15
		6-5 戸車と扉浮き止めストッパーの調整.....	15
		6-6 落とし受けツボの埋め込み.....	16
		施工完了時の注意事項.....	16
		施工工事店様、販売店様へのお願い.....	16

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。
- 錠・オプションは、別途施工説明書を確認してください。

梱包名称		梱包内容	※表内の（ ）は個数を表しています。
先導扉		先導扉本体 (1)・縦框キャップセット (1)・落し棒取付孔フサギカバーセット (1)	
親扉		親扉本体 (1)・縦框キャップセット (1)・落し受け壺※ ¹ (1)	
戸車		戸車 (2)・ボルトセット (1)・抜け止めストッパーセット (1)・自走防止部品セット (1)	
門柱		戸当り柱 (1)・2連引き用ガイド柱 (1)・2連引き用ガイドローラーセット (1) 施工説明書 [ME-2186] ※ ² (1)・取扱説明書 [MET-1073] ※ ² (1)	
戸当り		戸当り (1)・部品セット (1)	
ステンレス レール	本体巾：20～22	レール [L=1875] (2)	
	本体巾：24～26	レール [L=2375] (2)	
	本体巾：27～30	レール [L=2675] (2)	
	L=2375	レール [L=2375] (1)	
	L=3175	レール [L=3175] (1)	

- ※¹ 落し受け壺は、下記セット部品の「縦框キャップセット 親扉用」に同梱されています。
 ※² 施工説明書・取扱説明書は、下記セット部品の「2連引き用ガイドローラーセット」に同梱されています。

セット部品明細

梱包名称		梱包内容	※表内の（ ）は個数を表しています。
縦框キャップ セット	先導扉用	縦框キャップ (2)・セムスビス (2)・施工説明書 [ME-2151] (1)	
	親扉用	縦框キャップ (2)・セムスビス (2)・落し受け壺 [梱包明細と同一品] (1)・施工説明書 [ME-2151] (1)	
落し棒取付孔フサギカバー セット		落し棒取付孔フサギカバー (1)・φ5×12トラスタッピン3種 (2)	
ボルトセット		M8×30六角ボルト (2)・M8用バネ座金 (2)	
自走防止部品セット		自走防止部品 (1)・φ4×13セルフドリリングビス (2)	
抜け止めストッパーセット		抜け止めストッパー (1)・φ4×16セルフドリリングビス (2)	
2連引き用ガイドローラー セット		戸当り柱キャップ (1)・φ4×12トラスタッピン1種 (2)・2連引き用ガイド (2)・φ4×30ナベタッピン2種ガイド付ネジ (8) 戸当り柱アンカー (1)・φ4×13セルフドリリングビス (1)・アンカー棒 (1)・戸当り柱用レール固定板 (1) 2連式ガイド柱用レール固定板 (1)・φ4×16トラスタッピン3種 (4)・戸先ガイドローラー (1) M10×55六角ボルト (2)・M10用ナット (2)・M10用バネ座金 (2)・M10用平座金 (4) 2連引きストッパーセット (1)・2連引き用連結部品 (2)・ M8×30六角ボルト (4)・M8用バネ座金 (4)・M8用平座金 (4)・扉浮き止めストッパー (4)・レールアンカー (5) 2連式レールアンカー (2)・レールジョイント金具 (3)・M4×10トラス小ネジ (12)	
ヒンジセット		100角形材門扉調整ヒンジ上 (1)・100角形材門扉調整ヒンジ下 (1)・施工説明書 [ME-2135] (1)	
戸当り部品セット		戸当り固定裏板 (6)・M4×8トラス小ネジ (6)	

勝手の確認

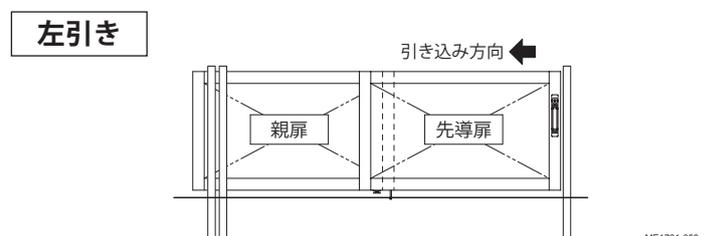
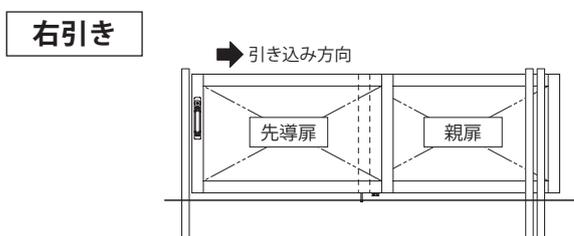
- 施工前に確認してください。

- 本説明書では、引戸の勝手を下記の通り示しています。



道路側より見て

- ・「右側」へ引き込む → 「右引き」
- ・「左側」へ引き込む → 「左引き」



1

柱部品の取付け

●「右引き（道路側より見て）」・「内観図」のイラストで示しています。

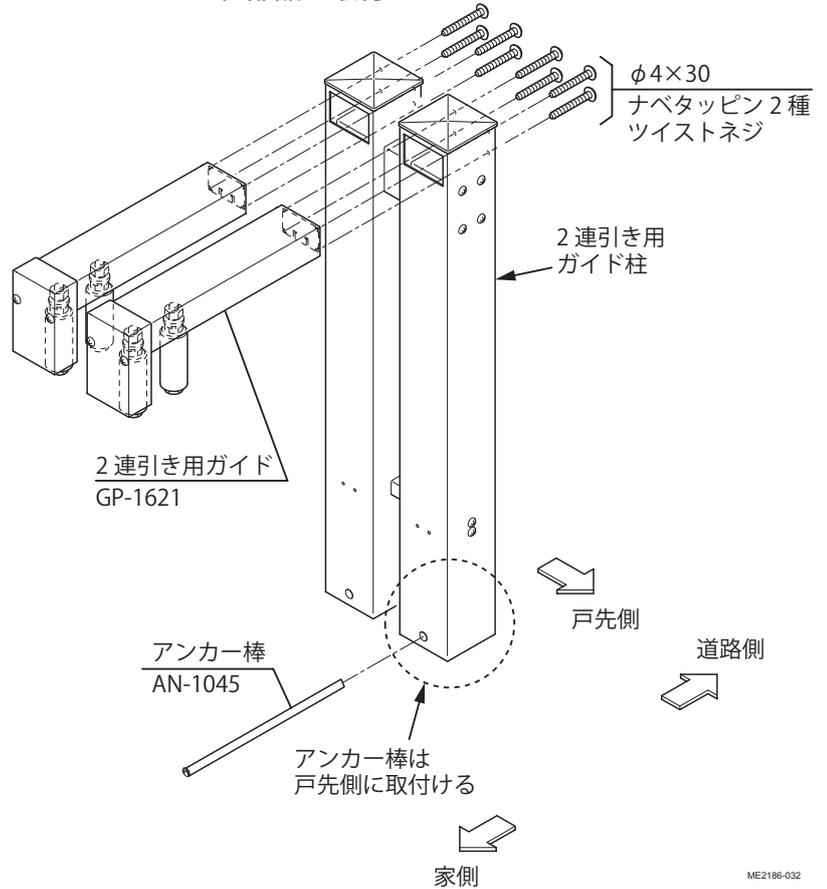
1-1 ガイド柱部品の取付け

- ① 2連引き用ガイドを2連引き用ガイド柱に取付けてください。
- ② アンカー棒を2連引き用ガイド柱（戸先側）の下部に差し込んでください。



引戸の勝手に合わせて、柱の戸先側を確認してください。

●ガイド柱部品の取付け



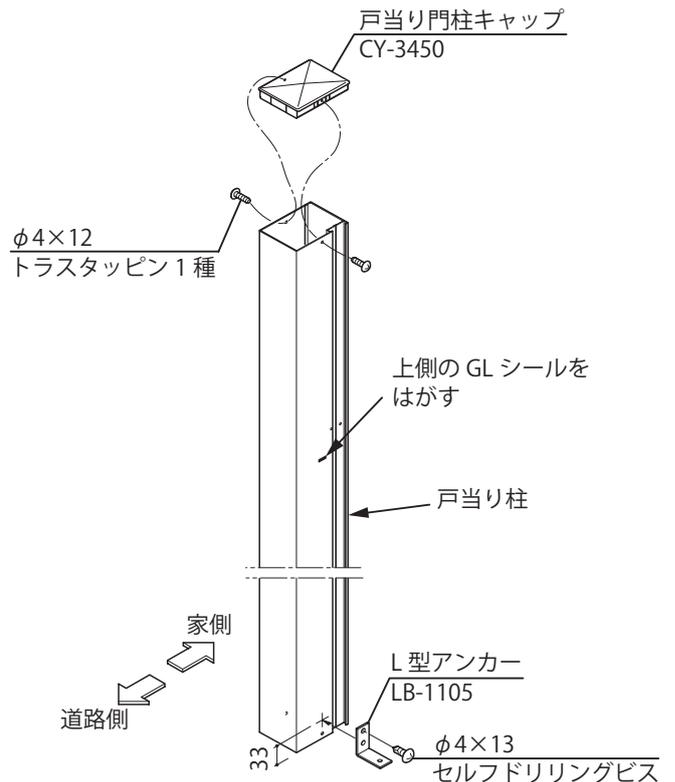
1-2 戸当り柱部品の取付け



戸当り柱には上下がありません。引戸の勝手に合わせて上下を反転してください。

- ① 戸当り柱を戸当り門柱キャップに取付けてください。
- ② 戸当り柱をL型アンカーに取付けてください。
- ③ 埋め込まない側のGLシール（上端より400mmの位置にある）をはがしてください。

●戸当り柱部品の取付け



2

柱の設置位置の確認

- 「納まり図」で巾および高さ寸法を確認してください。
- ()内は、H=1400の場合を示しています。
- 「右引き(道路側より見て)」・「内観図」のイラストで示しています。

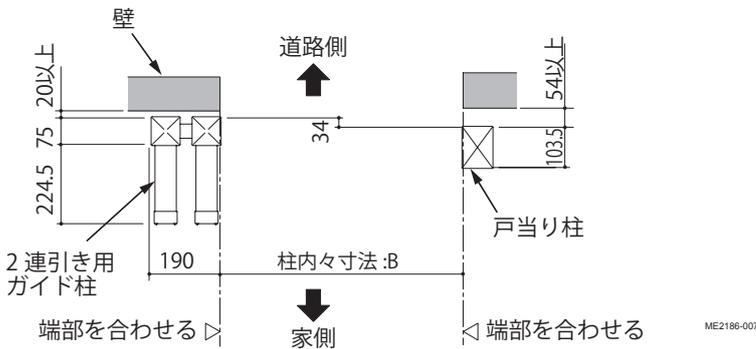


- 本章では柱の設置位置を確認してください。
- 柱の埋め込みは、後工程の「3-3. 柱・レールの埋め込み」でレールと同時に行います。

2-1 柱の設置位置の確認

①「納まり図」および図を参照して、柱の設置位置を確認してください。

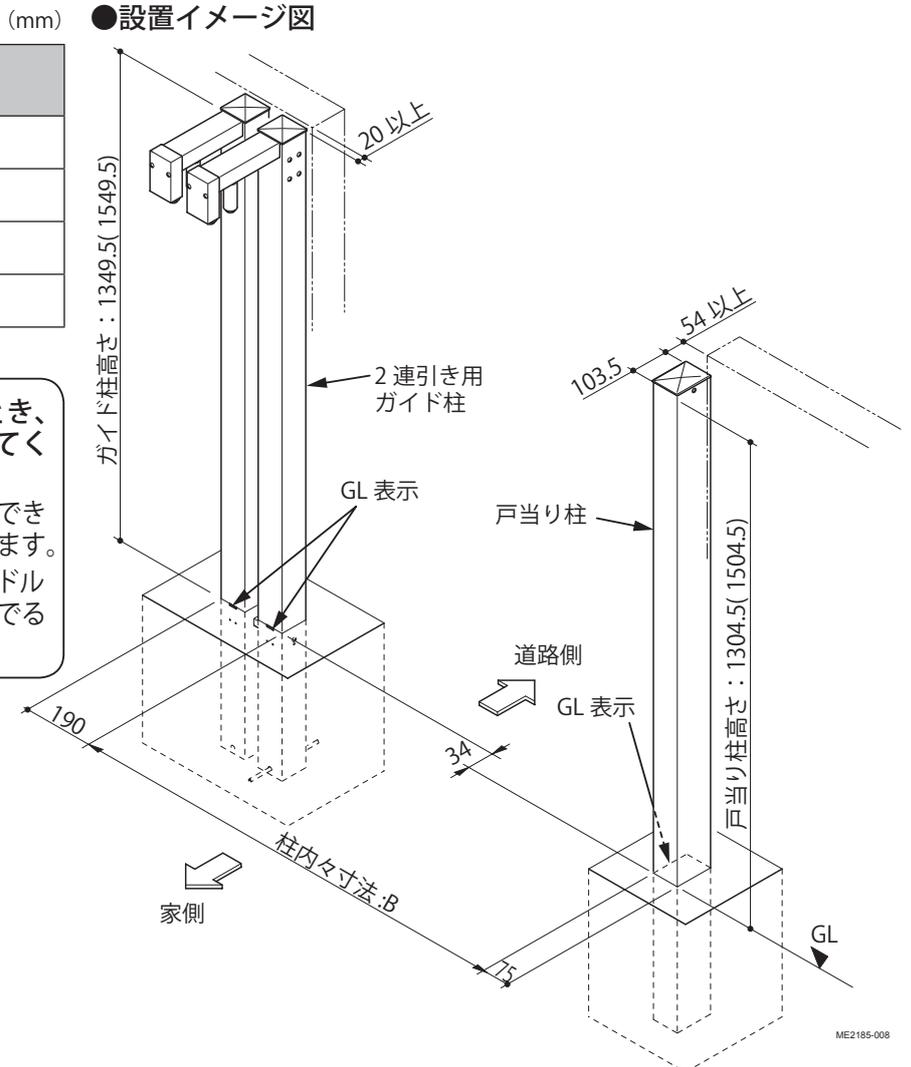
●設置寸法図



●寸法表

DW × 2 : 引戸巾 × 2	B: 柱内々寸法
1500 × 2	2328.5
2009 × 2	3346.5
2409 × 2	4146.5
2918 × 2	5164.5

●設置イメージ図



「3-3. 柱・レールの埋め込み」のとき、水平・垂直レベルを正確に合わせてください。



- ※寸法が正確でないと、引戸の設置ができなかったり、施錠不良の原因になります。
- ※壁との取合いが正確でないと、ハンドルと干渉するなど、開閉操作に支障がでる恐れがあります。

3

柱・レールの設置

- 「納まり図」で寸法を確認してください。
- 「右引き（道路側より見て）」・「内観図」のイラストで示しています。

3-1 レールの配置と連結

- ①レールの本数と配置を確認してください。
- ②必要に応じて、レールを連結してください。



レールは、下図「レールの配置」通りに施工してください。

※配置を間違えると、「6-4」で自走防止部品が取付けられなくなる場合があります。

●レール寸法表

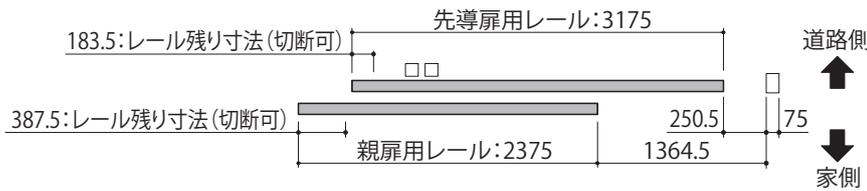
(mm)

DW × 2 : 引戸巾 × 2	先導扉用レール	親扉用レール
1500 × 2	3175	2375
2009 × 2	4750 (2375+2375)	3175
2409 × 2	6625 (2375+2375※+1875)	4250 (2375+1875)
2918 × 2	7425 (2675+2375※+2375)	5050 (2675+2375)

※中間部となるレールには、両端に取付孔があいています。

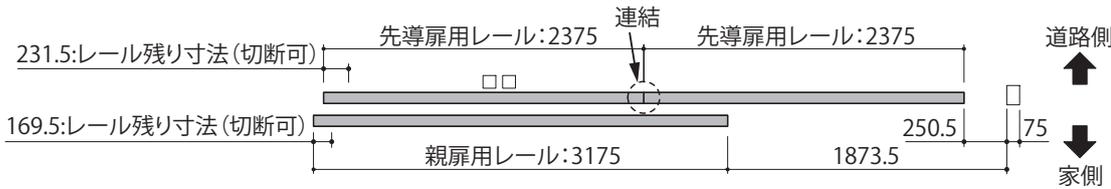
●レールの配置

DW × 2: 引戸 × 2	1500 × 2
-------------------	----------



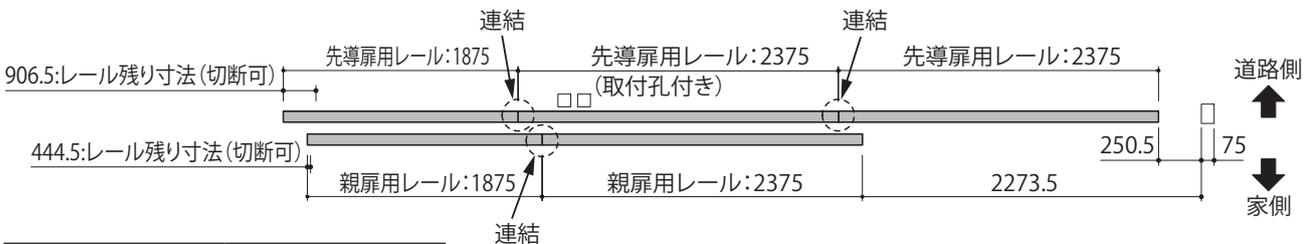
ME2186-301

DW × 2: 引戸 × 2	2009 × 2
-------------------	----------



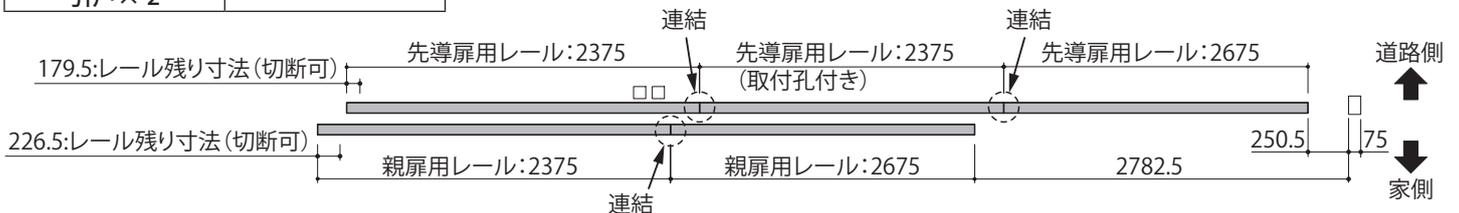
ME2186-302

DW × 2: 引戸 × 2	2409 × 2
-------------------	----------



ME2186-303

DW × 2: 引戸 × 2	2918 × 2
-------------------	----------



ME2186-304

3-2 レールの取付け

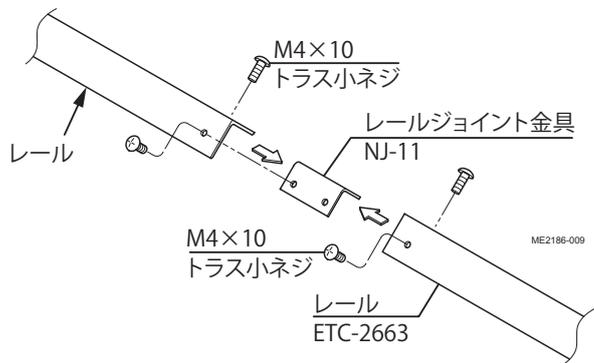
- ① 図を参照し、レールに部品をスライドさせて取付けてください。
- ② レールを柱に取付けてください。



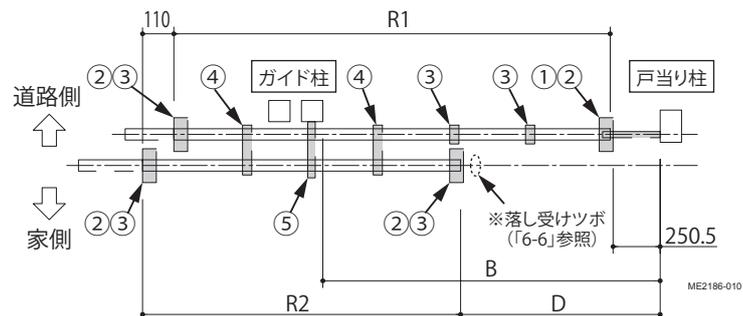
レール端部には必ず扉浮き止めストッパーを取付けてください。
 ※取付けないと、引戸の脱輪および転倒の原因になります。

レールを連結する場合

- 2本のレールをレールジョイント金具で連結してください。

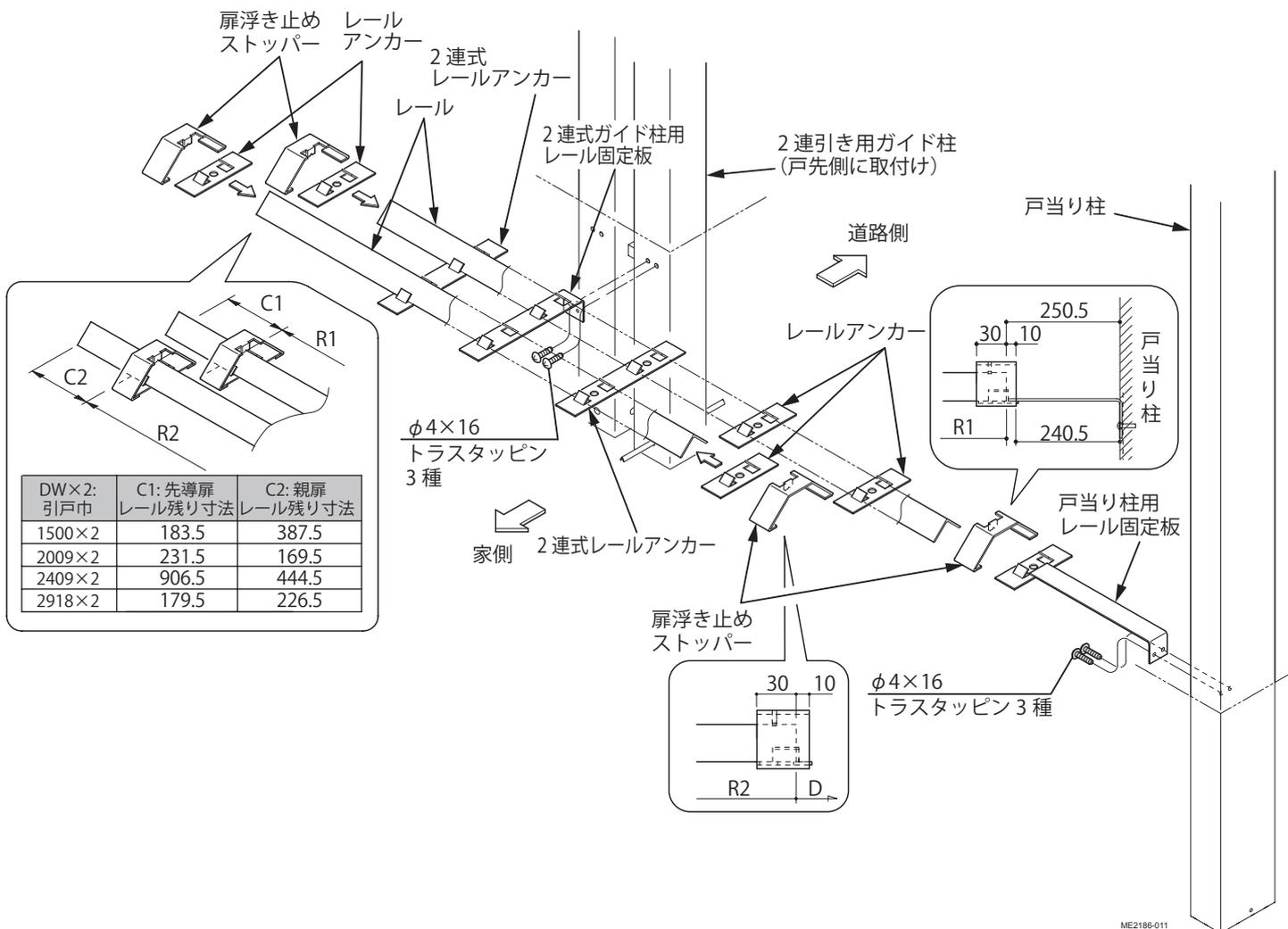


●部品配置図



- ① 戸当り柱用レール固定板 EB-2382
- ② 扉浮き止めストッパー EB-1680
- ③ レールアンカー NAN-19
- ④ 2連式レールアンカー NAN-45
- ⑤ 2連式ガイド柱用レール固定板 NAN-46

DW × 2: 引戸巾	R1: 先導扉 必要レール長さ	R2: 親扉 必要レール長さ	B: 柱内々寸法	D: 親扉側レール 戸当り柱間寸法
1500 × 2	2991.5	1987.5	2328.5	1364.5
2009 × 2	4518.5	3005.5	3346.5	1873.5
2409 × 2	5718.5	3805.5	4146.5	2273.5
2918 × 2	7245.5	4823.5	5164.5	2782.5



3-3 柱・レールの埋め込み

柱の埋め込み

- ①「納まり図」および「2. 柱の設置位置の確認」で設置寸法を確認してください。
- ②柱をレールと同時に埋め込んでください。

柱の埋め込み時には、水平・垂直レベルを正確に合わせてください。

- ※寸法が正確でないと、引戸の設置ができなかったり、施錠不良の原因になります。
- ※壁との取合いが正確でないと、ハンドルと干渉するなど、開閉操作に支障がでる恐れがあります。

●埋め込み寸法 = 400 mm

※ GL 表示を目安に埋め込んでください。

レールの埋め込み

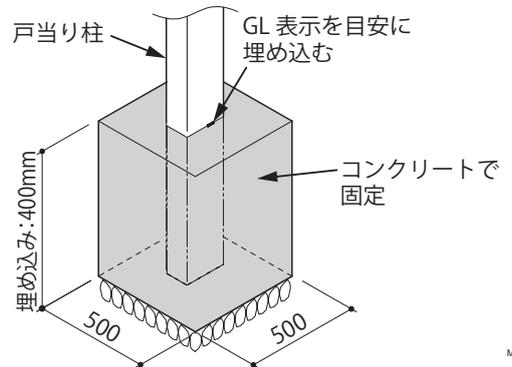
- ①水糸または水準器で、水平レベルを合わせてください。
- ② GL 面より 15mm レール頭が出るように、柱およびレールを埋め込んでください。

柱の埋め込み時には、「2. 柱の設置位置の確認」を参照し、寸法を正確に合わせてください。

- ※寸法が正確でないと、引戸の設置ができなかったり、施錠不良の原因になります。

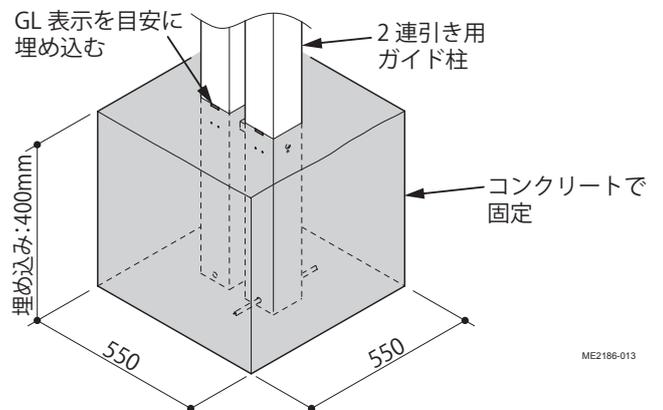
●柱の基礎寸法図

戸当り柱

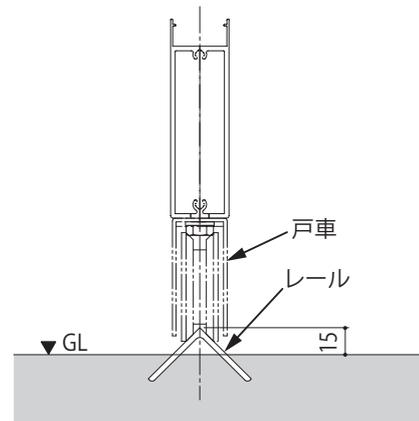


ME2186-012

2連引き用ガイド柱



ME2186-013



ME2186-014

4

引戸部品の取付け

●「右引き（道路側より見て）」・「内観図」のイラストで示しています。

4-1 縦枠キャップ（下部）の取付け

- ①引戸に同梱の「縦枠キャップセット」内の施工説明書 [ME-2151] を参照して、縦枠キャップを引戸に取付けてください。



参照説明書
・「縦枠キャップ」施工説明書 [ME-2151]

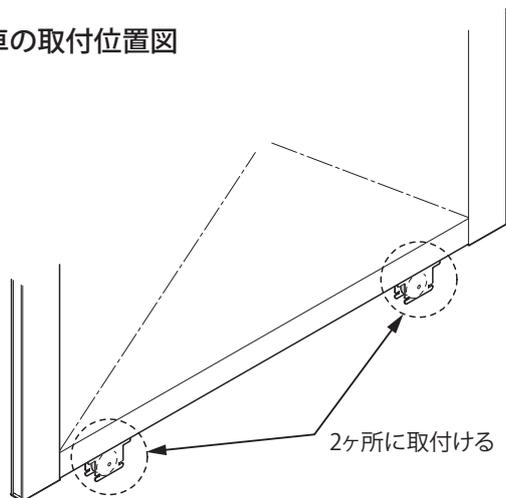
4-2 戸車・孔フサギカバーの取付け

- ①戸車および孔フサギカバーを引戸に取付けてください。



孔フサギカバーの取付けは
先導扉のみになります。

●戸車の取付位置図



φ5×12
トラスタッピン3種

孔フサギカバー
C-1584

戸先側

先導扉

戸車
LC-1062

M8×30
六角ボルト
M8用バネ座金

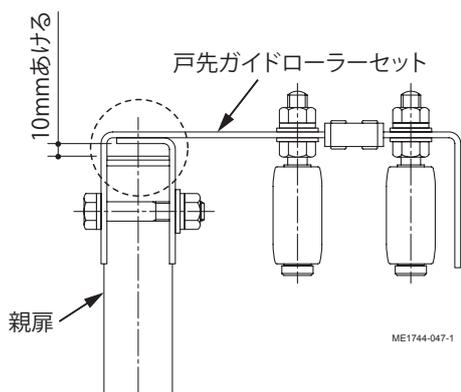
ME1744-043-1

ME2186-015

4-3 戸先ガイドローラーの取付け

- ①戸先ガイドローラーセットを親扉上框に取付けてください。

●取付部断面図



ME1744-047-1

戸先ガイドローラーセット
NLC-32

親扉上框

M10×55 六角ボルト
M10用平座金

M10 ナット
M10用バネ座金
M10用平座金

道路側

家側

ME2186-016

4-4 2連引きストッパーの取付け

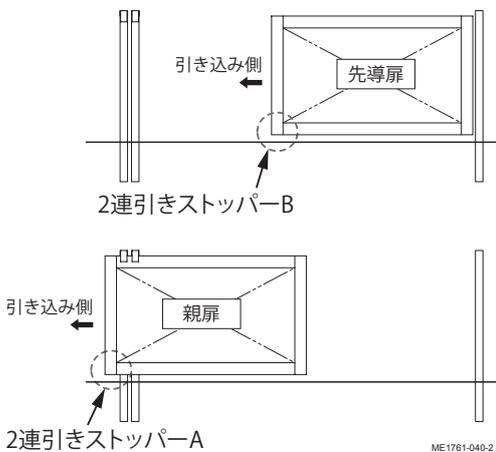
- ①扉の引き込み側縦框に、2連引きストッパーのネジ持ちをスライドさせて挿入してください。



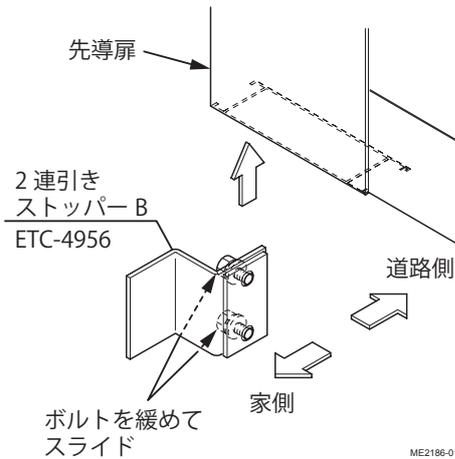
2連引きストッパーは仮組みされています。ボルトを緩めてネジ持ちを挿入してください。

- ②位置を合わせて、ボルトを締め付けてください。

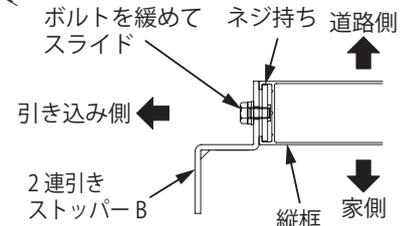
●取付位置図



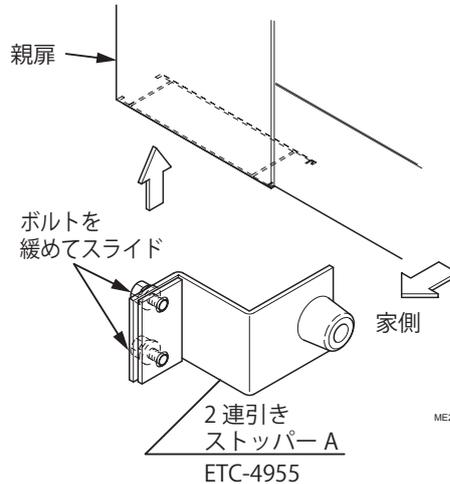
●先導扉の場合



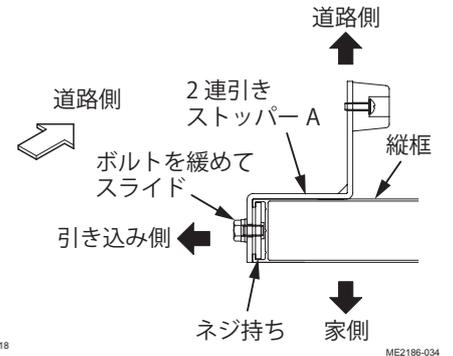
●取付詳細図



●親扉の場合



●取付詳細図



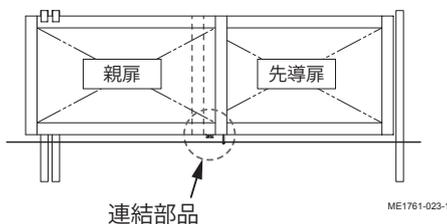
4-5 連結部品の取付け

- ①2連引き用連結部品を引戸に取付けてください。

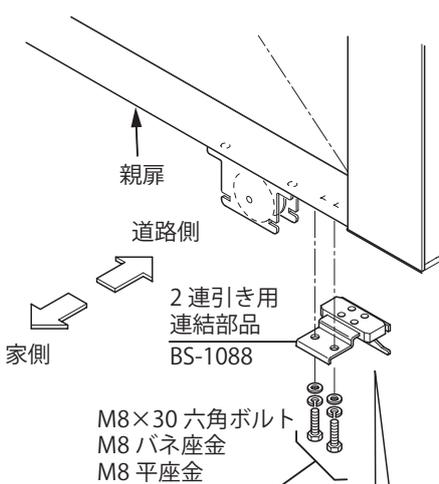


連結部品の向きを正しく取付けてください。

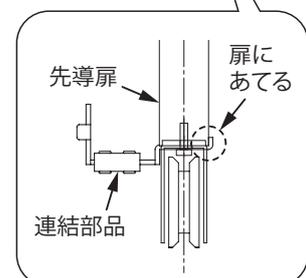
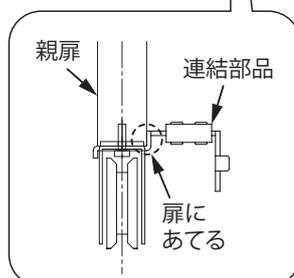
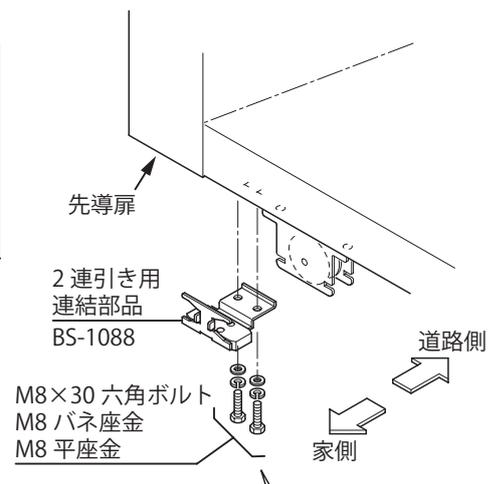
●取付位置図



●親扉の場合



●先導扉の場合



※本図は、先導扉側を示しています。

5

引戸の設置

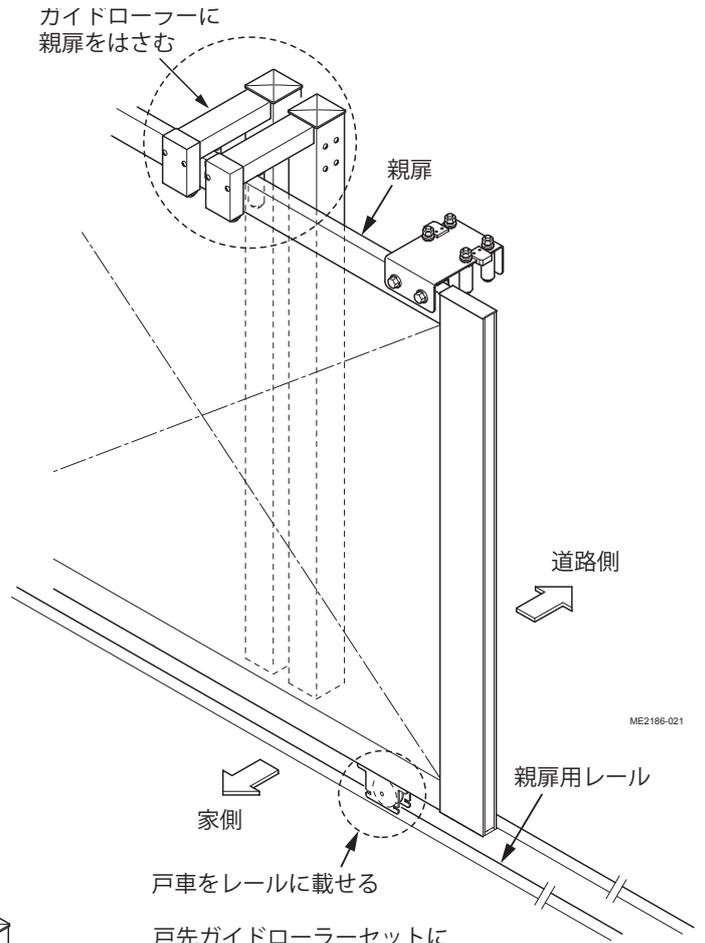
●「右引き（道路側より見て）」・「内観図」のイラストで示しています。



オプション品の隙間隠しパネルを取付ける場合は「隙間隠しパネル」の施工説明書 [ME-2187] を参照してください。

5-1 親扉の設置

- ①ガイドローラーに親扉をはさみ、戸車をレールに載せてください。

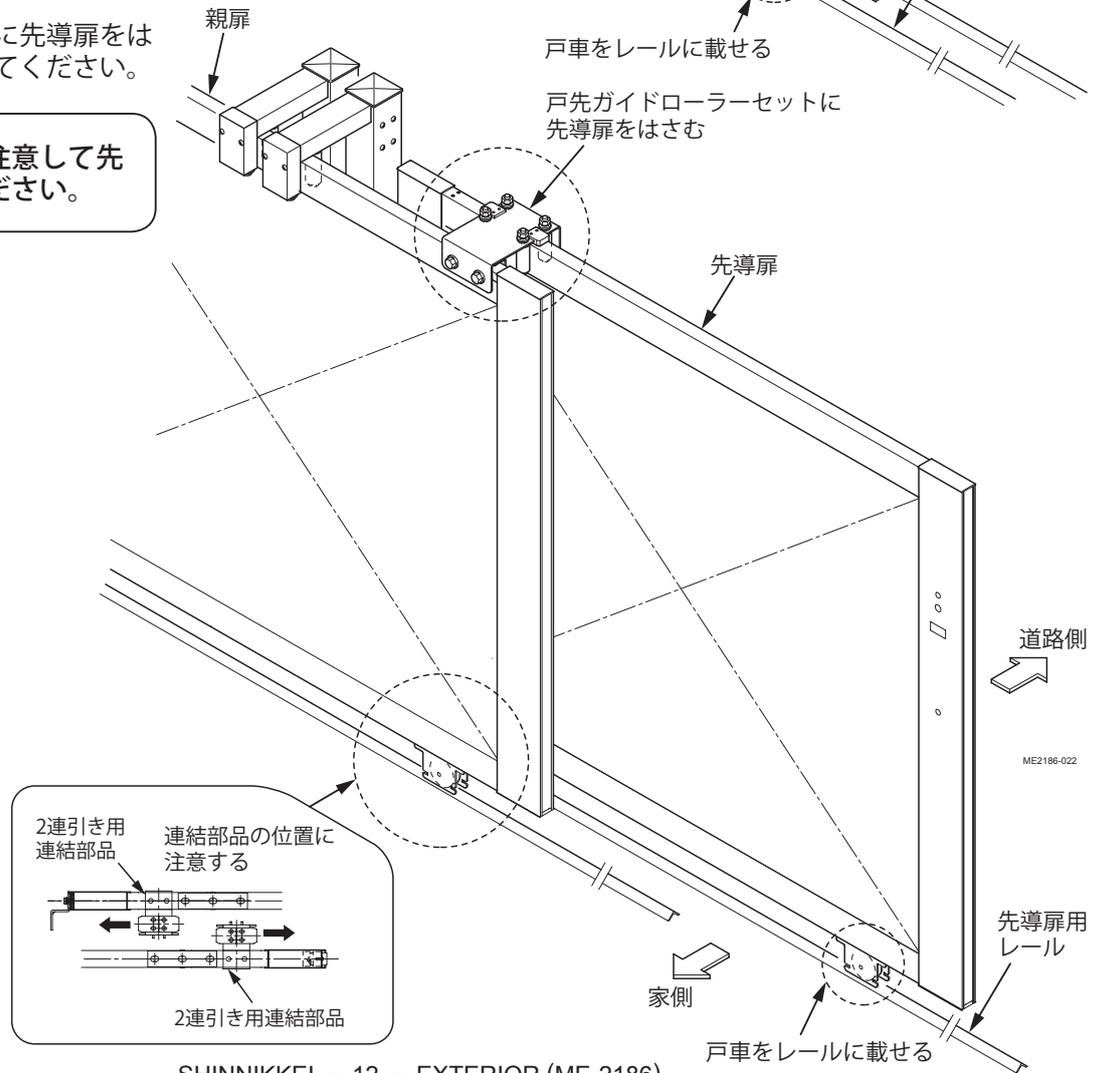


5-2 先導扉の設置

- ①戸先ガイドローラーセットに先導扉をはさみ、戸車をレールに載せてください。



連結部品の位置に注意して先導扉を設置してください。

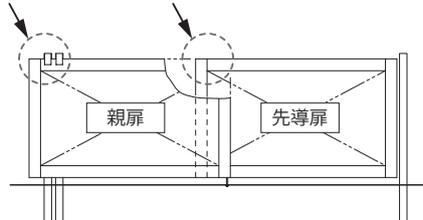


5-3 抜け止めストッパーの取付け

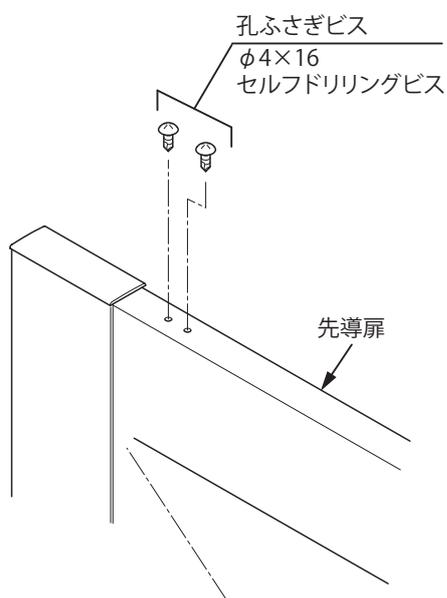
- ① 先導扉に孔ふさぎビスを取付けてください。
- ② 親扉に抜け止めストッパーを取付けてください。

● 抜け止めストッパー取付位置図

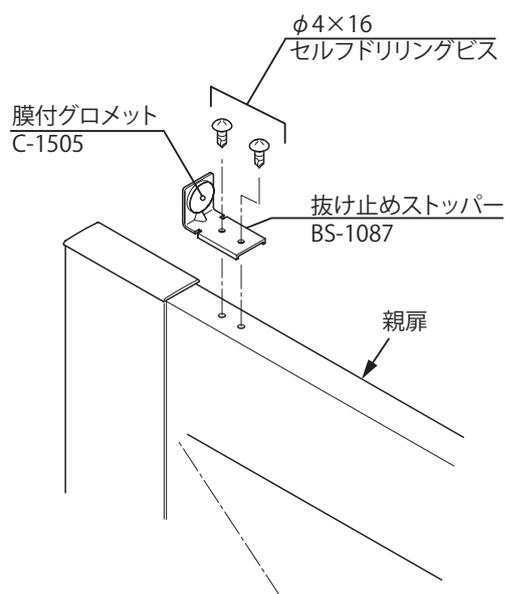
抜け止めストッパー 孔ふさぎビス



● 先導扉の場合



● 親扉の場合



6

引戸取付後の作業と調整

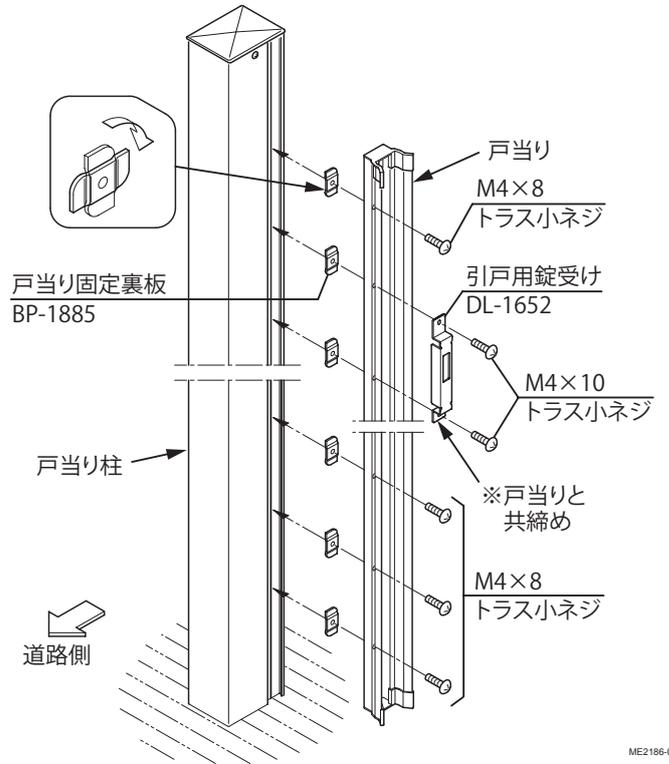
- 「右引き（道路側より見て）」・「内観図」のイラストで示しています。
- ※「外観図」と指示のある場合を除きます。

6-1 戸当り・錠受けの取付け



引戸錠 HA 型の施工説明書 [ME-1746] を合わせて参照してください。

- ①戸当りと錠受けを取付けてください。



ME2186-025

※本図は外観図を示しています。

6-2 錠の取付け

- ①「引戸錠 HA 型」と同梱の施工説明書 [ME-1746] を参照して、錠を取付けてください。



参照説明書
・「引戸錠 HA 型」施工説明書 [ME-1746]

6-3 ガイドローラーの調整

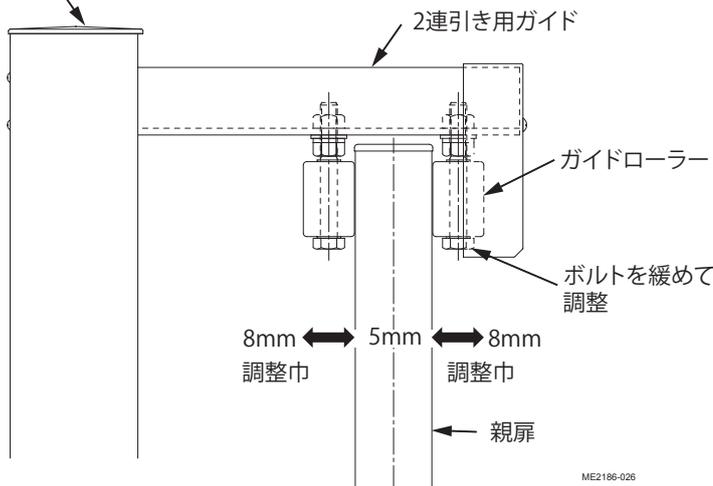
- ①ガイドローラーのボルトまたはナットを緩めて、引戸とガイドローラーの位置を調整してください。



調整後、ボルトを確実に締め付け、固定してください。

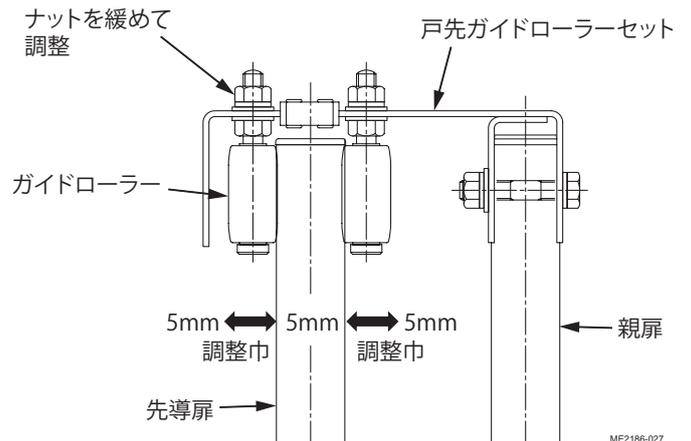
●2 連引き用ガイドの調整

ガイド柱



ME2186-026

●戸先ガイドローラーセットの調整



ME2186-027

6-4 自走防止金具の取付け



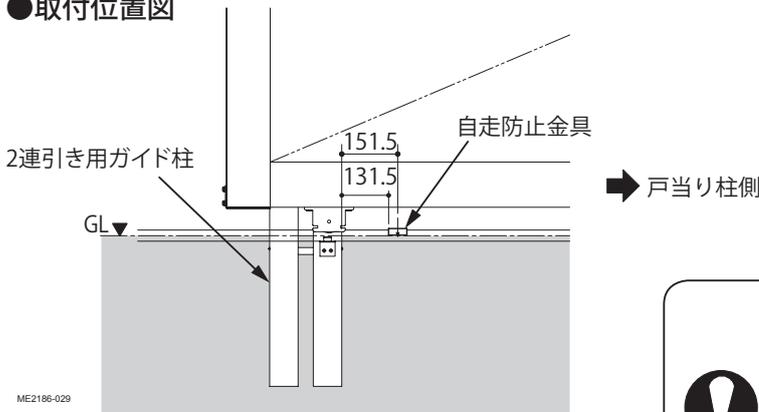
- ここでは、「標準納まり」の取付位置のイラストで示しています。
- 現場状況により、引戸の納まりが異なる場合には、現場対応で取付けてください。

①自走防止金具をレールに取付けてください。

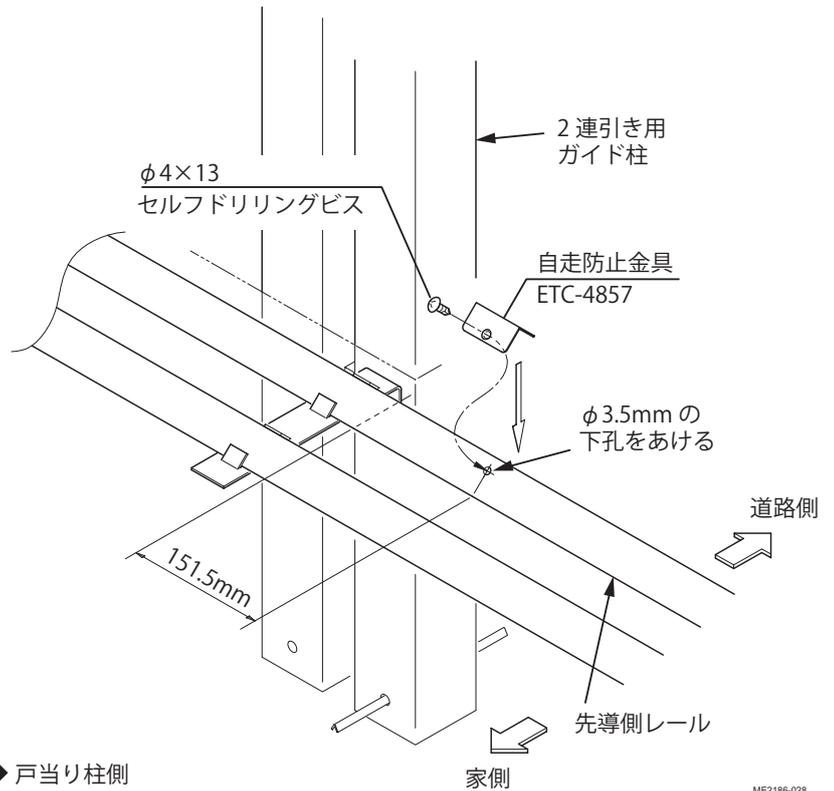


必ず所定の位置に自走防止金具を取付けてください。
※扉の全開時、強風などによる予期せぬ自走の原因となります。

●取付位置図



②取付け後、扉を最後まで押し開け、自走防止機能（扉が自走防止部品を乗り越えて止まるか）を確認してください。



- 取付け後は、必ず扉の開閉操作を行い（扉を全開にして）自走防止機能を確認してください。
- 扉を開く場合は、扉を最後まで押し開けるよう施主様に説明してください。
※扉を最後まで押し開けないと、強風などによる予期せぬ自走の原因となります。

6-5 戸車と扉浮き止めストッパーの調整

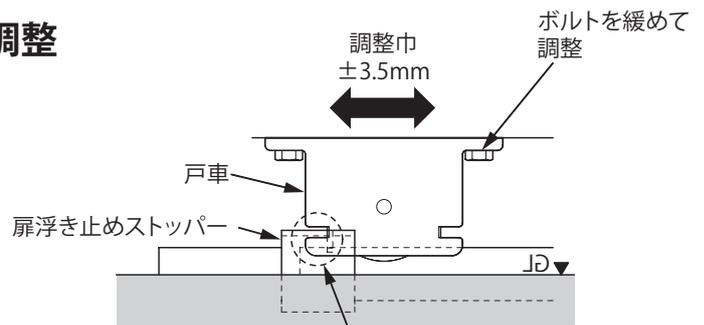
①戸車の調整ボルトを緩め、戸車の位置を調整してください。



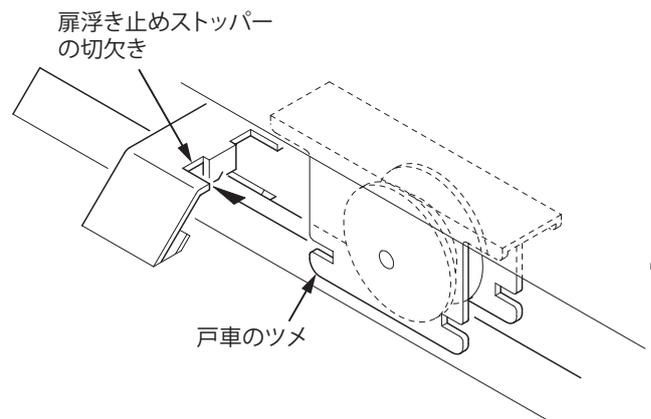
戸車のツメを扉浮き止めストッパーの切欠きに引っ掛け、引戸が持ち上がらないことを確認してください。



調整後、ボルトを確実に締付け、固定してください。



ツメを切欠きに引っ掛けること



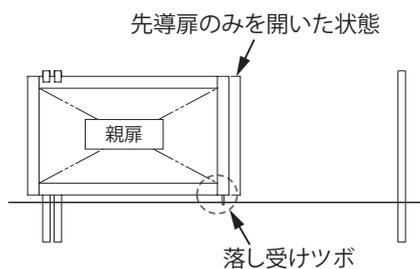
6-6 落とし受けツボの埋め込み



先導扉のみを開いた状態で作業を行ってください。
※「納まり図」で確認してください。

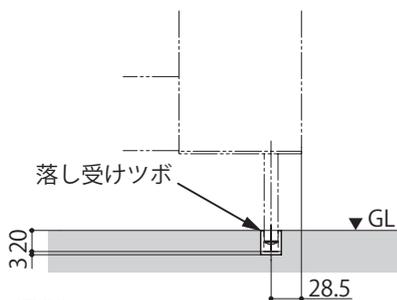
- ①「先導扉のみを開いた状態」にしてください。
(※「納まり図」を参照。)
- ②親扉の落とし錠位置に合わせて、落とし受けツボを埋め込んでください。

●取付位置図

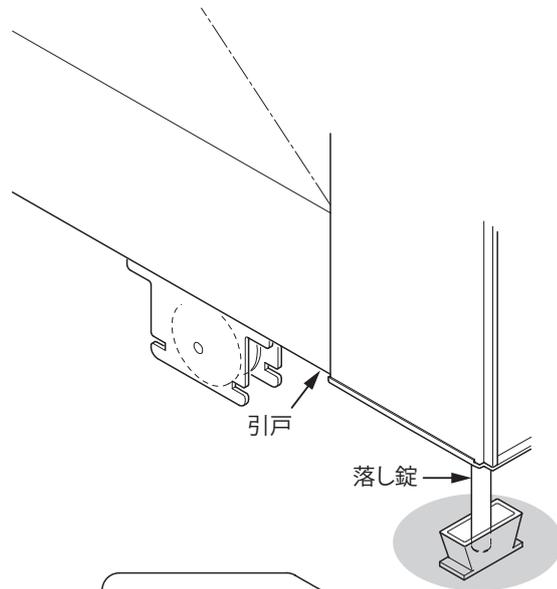


ME1761-046-2

●取付詳細図



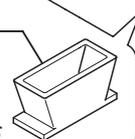
ME2186-031



ME2186-030

落とし受けツボ
UD-1022

※引戸に
垂直に埋め込む



施工完了時の注意事項

- ビス・ボルト類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 可動部品については作動チェックを行い、不具合がないか確認してください。また、必要に応じて調整してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店	TEL ()	-	
販売店	TEL ()	-	

株式会社LIXIL この商品についてのご質問やご相談は右記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室



0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ <http://www.lixil.co.jp>